

平成22年度第9回公立大学法人滋賀県立大学教育研究評議会 議事録

日時・場所：平成22年12月7日（火）14：00～15：35 評議会室  
出席者：曾我理事長（議長）、川口副理事長、大田理事、菊池理事、仁連理事、  
布野環境科学部長、濱崎人間文化学部長、藤田人間看護学部長、  
寄本国際教育センター長、長谷川教授、山根教授、竹下教授、山田教授、  
地蔵堂教授、菅谷委員、斎藤委員、井下委員  
欠席者：横山理事、松下工学部長  
事務局：堀部事務局次長、坪田グループ統括、小島グループ統括、  
高田グループ統括、杉野グループ統括、藤野グループ統括、  
郡田グループ統括、山田副参事、山内主査

平成22年度第8回公立大学法人滋賀県立大学教育研究評議会議事録（案）について  
原案のとおり承認された。

報告事項

- 1 教員の採用について  
曾我理事長より資料に基づき報告があった。
- 2 研究生の入学・退学について  
大田教育担当理事より資料に基づき報告があった。
- 3 認証評価に係る訪問調査の実施結果について  
曾我理事長および調査に出席した理事、学部長より資料に基づき報告があった。  
訪問調査で出された意見に関して、授業評価アンケートを記名式で実施すべきとの意見には同感である、電子ジャーナルの不足により各教員は苦勞しているとの意見があった。  
また、学生からの夜の大学構内が暗いという意見については、不安を感じるレベルであれば改善が必要であり、夜間の大学構内への立入禁止などの対策も必要であるとの意見があったが、立入禁止に関しては理工学系の実験等に支障があるほか、学外で事件、事故等に巻き込まれる危険性もあるため、安易に実施するのではなく、慎重に検討すべきであるとの意見があった。あわせて、休日のバスの便が悪く、南彦根駅行きの最終が18時台であるので、改善を要請してほしいとの意見があった。
- 4 平成22年度入試相談会の結果の概要について  
藤野教務グループ統括より資料に基づき報告があった。
- 5 平成23年度特別選抜試験の受験状況について  
藤野教務グループ統括より資料に基づき報告があった。  
私費外国人留学生の受験者数が増加したことに関して、受験の段階で奨学金が支給されるのかはわかるのかとの質問があり、予約のような制度はないとの回答があった。
- 6 平成22年度卒業・修了予定者の進路・就職内定状況等について  
杉野学生・就職支援グループ統括より資料に基づき報告があった。  
就職内定状況が厳しい中で強化している対策について質問があり、就職相談員や学生による個別相談を実施しているほか、4回生の未内定者が多いため、各学科の就職

担当教員と情報交換の場を持ち、対応しているとの回答があった。

また、就職内定率の低い状況が恒常化しないために、分析と対策が必要であるとの意見があり、来年度からキャリアデザイン論の科目を新設し、早い時期から教育を行うことにしているとの回答があった。

#### 7 各委員会等の結果の概要について

- (1) 平成22年度全学共通教育推進機構全学共通教育運営会議（臨時会議）・  
第4回全学共通教育推進機構全学共通教育運営会議
- (2) 平成22年度第2回・第3回認証評価実施特別委員会
- (3) 平成22年度第3回教務委員会
- (4) 平成22年度第2回広報委員会
- (5) 平成22年度第8回国際交流委員会
- (6) 平成22年度第5回発明委員会

全学共通教育推進機構全学共通教育運営会議の結果の概要に関連して、非常勤講師の選考には様々な方法があり、ある大学では、学会発表を参考にし、学会に参加した学生の意見を取り入れている事例があるとの意見があった。また、教職課程部会で確認された「共通開設科目」の対応にかかる検討状況について質問があり、技術的な事項を含め、事実確認を行っているとの回答があった。教職課程部会からの要望については、教職担当の専任教員は2名で対応できないかと考えており、学部長に状況を確認し、検討しているとの回答があった。

#### その他

##### 1 行政刷新会議による大学教育に関する事業仕分けの結果について

今年度、本学の事業が採択された文部科学省の大学教育推進プログラムについて、行政刷新会議による事業仕分けにおいて廃止と評価されたため、県選出の国会議員や文部科学省に要望を行っている旨、曾我理事長および大田教育担当理事より資料に基づき報告があった。

##### 2 職員給与等の改定について

坪田総務グループ統括より資料に基づき報告があった。